

2019年度事業報告書

2019年4月1日～2020年3月31日

1. 概観

埼玉県知的障害児者生活サポート協会がスタートし14目となる2019年度は「2020年度の制度改定」に向けての準備の年となりました。会員の方が制度改定への理解を深めていただくために、全会員へ改定の目的、補償内容の変更点などを丁寧にご案内するように努めました。

会員拡大活動に際して、株式会社ジェイアイシーと連携し、特別支援学校での説明会（県内29校中25か所）や生活サポート協会未加入の施設へDM工作を行いました。また障がいがある方の自立を支援する団体「クッキープロジェクト」に広告協賛団体として応援、参加し「埼玉県知的障害児者生活サポート協会」の団体名を広く知っていただく機会となりました。

今後とも「互助の精神」を忘れることなく、会員の皆様から頼りにされるサポート協会となるべく、より一層の努力をまいります。

2. 事業

(1) 会員拡大に向けた活動

新規加入者は457名、年度末には8,616名（A5,261名 B2,737名 C618名）

(2) 研修会

①2019年 6月11日（火）埼玉県 県民健康センター大会議室
テーマ：「秩父地域におけるさやかグループ地域生活移行のあゆみについて」
講師：岡部 浩之 氏
（社会福祉法人清心会 総合施設長）

②2019年12月 6日（金）埼玉県 県民健康センター大会議室
テーマ：「誰もが大切にされる世の中に～ともに生きていく～」
講師：藤木 和子氏
（シブコト障害者のきょうだいのためのサイト共同運営者）

(3) 広報に関する活動

会報「埼サポ11号」発行 2020年1月1日（12,000部）

会員の方が、読みやすく親しみやすい内容となるようにオールカラーにした

- ・会員の方が健康にすごせるための情報を掲載
- ・ページ数を8ページに増やし会員の方から寄せられた「作品」全てを紹介
- ・助成事業報告として、支部が行った「研修会」の記事を掲載
- ・サポート協会を広く知って頂くために、既存の会員以外に、特別支援学校卒業生への案内や新規加入希望者へのパンフレット送付時にも同封したクッキーバザール2020に広告協賛団体として参加
- ・障がい者の自立を支援する団体のイベント「クッキーバザール」を広告協賛で応援。バザール当日は職員もボランティアとして参加

(4) 助成事業

当会の助成事業は2018年度は、8支部（525,347円）であったが、2019年度は12支部（897,462円）であった。

	申請団体	実施日	助成金額	
1	草加光陽育成会	4/19 (金)	36,740	
2	鴻巣市手をつなぐ親の会	5/31 (金)	50,000	
3	障害者支援施設さやか	6/29 (土)	100,000	
4	八潮市手をつなぐ親の会	6/30 (日)	100,000	
5	社会福祉法人邑元会しびらき	7/5 (金)	37,384	
6	社会福祉法人 昴	8/21~8/22	100,000	
7	三芳太陽の家	10/5 (土)	100,000	
8	上尾市手をつなぐ親の会	11/16 (土)	88,189	
9	かわせみ保護者会	12/12~12/16	100,000	
10	越谷市手をつなぐ育成会	11/9 (土)	100,000	
11	久喜市栗橋手をつなぐ育成会	1/19 (日)	6,951	
12	ぎゅっとネット手とて	2/8 (土)	78,198	
13	戸田市手をつなぐ育成会	3/1 (日)	0	中止(74,000)
14	白岡市手をつなぐ親の会	3/12 (木)	0	中止 (70,000)
			897,462	

※13、14は新型コロナウイルス感染予防のため中止

① 支部「草加光陽育成会」 (2019年4月19日実施)

事業名：育成会のこれから検討会

「障がい者がおじいさん、おばあさんになったら
～住まい・暮らし・お金のこと～」

講師：又村 あおい 氏

目的：会員・会員外を問わず、関心のある方に参加していただき、障がい者への理解を深め、福祉の状況を知っていただきたいという思い、情報提供のため。

成果：身近なこと、興味深いことでありながら難しいことを大変わかりやすく丁寧にお話いただき、参加者から好評だった。

助成額：36,740円

② 支部「鴻巣市手をつなぐ親の会」 (2019年5月31日実施)

事業名：行動障害の理解と適切行動支援 応用編

目的：行動障害がある我が子への接し方を学ぶ。

成 果：当事者とその家族へのP B S支援（罰を行わない積極的行動支援）
の講演と保護者向けのワークショップを行い大変ためになった。

助成額：50,000円

③ 支 部「障がい者支援施設さやか」（2019年6月29日実施）

事業名：障がい者権利擁護セミナー

「当事者の立場から虐待・差別にどう向き合うか」

1部 啓発活動キャラバン隊による疑似体験

2部 基調講演とシンポジウム

講 師：矢野 一隆 氏（たつの市手をつなぐ親の会会長、ピース&ピース代表）

中嶋 恵子 氏（たつの市役所地域福祉課主幹）

久保 厚子 氏（全国手をつなぐ育成会連合会会長）

目 的：障がい者の権利擁護の啓発

成 果：啓発活動キャラバン隊ピース&ピースによる疑似体験をとおして
障がいがある方の感覚や気持ちを知ることができた。

また基調講演では、やまゆり事件に対する本人・家族の方の目線で
考えや想いを学ぶことができた。

助成額：100,000円

④ 支 部「八潮市手をつなぐ親の会」（2019年6月30日実施）

事業名：八潮市手をつなぐ親の会 50周年記念講演

「障がいがある人もない人もともに暮らせるまち八潮へ」

講 師：又村 あおい 氏

目 的：50周年という機会に、生きづらさを抱えている当事者のことを
一人でも多くの方に知っていただき理解を深める。地域で生きてい
くためには、地域住民のご理解をいただくことが必要であるため、
一般の方にも参加を呼びかけ一緒に考えていただく機会とする。
共生社会について様々な立場、角度から考えて今後につなげること
を目的とする。

成 果：地域の方々の参加が多く様々な立場の方にこの講演を聴いていただ
けたことは大きな成果となりました。

共生社会について、わかりやすい資料・解説、障がい別の具体的な
説明を聞くことができ、有意義な講演会になりました。

助成額：100,000円

⑤ 支 部「社会福祉法人邑元会 しびらき」（2019年7月5日実施）

事業名：4法人合同研修会

「ドミノ電鉄を通しての合意形成」

邑元会、ささの会、彩明会、川越にじの会

目 的：チームで円滑な合意形成を図る過程を学ぶ。

法人間で良好な支援員の完成性を築き専門性を高めあうきっかけ
をつくる。

成 果：チームで円滑な合意形成を図る過程をドミノを用いたアクティビティーを通して学んだ。法人の壁を越え、楽しみながら悩みながら議論を交わしながらそれぞれの役割を果たし合意形成を図ることができた。研修で築かれたチームワークは今後も法人の壁を越えて続いていくことが期待できる。

助成額：37,384円

⑥ 支 部「社会福祉法人 昴」（2019年8月21日実施）

事業名：共生社会フォーラム in埼玉

障がいがある人の表現活動の鑑賞

目 的：共生社会の実現のために誰もが等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されるものであるという理念を学び、地域社会に向けて普及啓発していく人材を養成するための研修

成 果：参加者107名がより身近に障害がある人々の表現活動に触れ、共生社会との関わりを深く考えるきっかけとなった。

助成額：100,000円

⑦ 支 部「三芳太陽の家」（2019年10月5日実施）

事業名：ふれあいオーケストラ

目 的：音楽鑑賞のほか、演奏者と一緒に演奏したり、音楽に合わせて踊ったりする。演奏依頼先は三芳ウインドオーケストラ。

地域の障がいのある方にも音楽にふれあってもらい普段経験できない社会経験をとおして自己表現を豊かにしてもらう。

また、地域の方にも「三芳太陽の家」を理解してもらう。

成 果：当日観客数204名（半数近くは障がいのある方）

来場された方からは

「とても素晴らしいコンサートだった」

「いつもはヒヤヒヤしながら聞いていたのだが、今回は心より楽しめた」などの感想があった。

助成額：100,000円

⑧ 支 部「上尾市手をつなぐ親の会」（2019年11月16日実施）

事業名：ふれあいフェスティバル

バリアフリーボックス、

体験コーナー（竹とんぼ、竹笛）

ゲームコーナー（ストラックボール、輪投げ）

目 的：障がい者本人と家族、家族事業所職員やGH支援者とのふれあい。障がい者本人の余暇活動の支援

成 果：同じ障がいを持った仲間が、親、ボランティアの支援で音楽にああせて体を動かしたり、普段できない体験（竹笛、竹トンボ、大型紙芝居）などを通じて、地域の方々に障がい者への理解を深めていただけた。何より子どもたちが余暇活動で体を動かしボランティアさんの作ったカレーをみんなで食べていた時の笑顔がステキでした。

助成額：100,000円

- ⑨ 支 部「かわせみ保護者会」 （2019年12月12日実施）
事業名：日高市障がい者創作活動合同作品展
目 的：障がいがある方の表現活動をサポートし、創作活動を通じて社会参加を進めるとともに、作品展示をとおして、当事者と市民とのつながりを作っていく。
成 果：この事業の目的「創作活動を通じて社会参加の機会を得て、市民の方から感想をいただく」については、来場者 367 名のうち 189 名から応援メッセージが寄せられ、障がいのある方に市民の声を届けることができた。当事者のかたも会場受付や来場者の案内などを率先して担っていただき社会参加の機会を作ることができた。
助成額：100,000円
- ⑩ 支 部「越谷市手をつなぐ育成会」 （2019年11月19日実施）
事業名：「本人会～鉄道博物館バスツアー」
目 的：県内外の本人（知的障がい児者）同士の交流と余暇活動の充実
成 果：県内外の本人（知的障がい児者）同士の交流と余暇活動の充実
助成額：100,000円
- ⑪ 支 部「久喜市栗橋手をつなぐ育成会」 （2020年1月19日実施）
事業名：「みんなの学校」木村泰子先生講演会&映画会
目 的：この映画・講演会をとおして「インクルーシブ教育」「共生社会」の実現に向けて、地域住民の一層の理解の促進を図っていききたい。
成 果：参加者306名。「みんなの学校」の映画・講演会をとおして、共生社会の実現を深く考えるきっかけとなった。
助成額：6,951円
- ⑫ 支 部「ぎゅっとネット手とて」 （2020年2月8日実施）
事業名：「親なきあと」セミナー・ワークショップ
目 的：「親なきあと」残された家族が障がいのあるお子さんの支援にスムーズな対応ができるように、知っておきたい法的制度の勉強と『親心の記録⑧』を利用した連絡ファイルの作成
成 果：参加者は、熊谷市以外近隣の市町村からの参加もあり54名でした。講師の思いあふれる事例を紹介しながらのお話に、この機会に知ることが出来て良かったとの声をたくさんいただきました。参加者の皆さんと学ぶ機会がもてて有意義なセミナーでした。
助成額：78,198円

3. 会議の開催

- (1) 総会 2019年 6月11日 (火) 埼玉県 県民健康センター 大会議室

- (2) 理事会 2019年 5月30日 (木) 埼玉県手をつなぐ育成会 会議室
 2020年 3月17日 (火) 埼玉県手をつなぐ育成会 会議室

- (3) 支部長会
 2019年 6月11日 (火) 埼玉県県民健康センター 大会議室
 2019年12月 6日 (金) 埼玉県県民健康センター 大会議室

4. 全国知的障害児者生活サポート協会および関東甲越ブロックとの連携

- (1) 全国サポート協会 2019年度定時社員総会に出席
 2019年 5月31日 (金) 大田区産業プラザ pio

- (2) 全国サポート協会主催 アールブリュット展に応募
 26名：社会福祉法人清心会、川の郷福祉会おれんじ、ぽとふ館
 鴻巣市手をつなぐ親の会、個人会員)

- (3) 第13回関東甲越ブロック会議に出席
 2019年11月14日 (木) ホテルメトロポリタン高崎 (群馬県)

5. その他